

福井県衛生環境研究センター研究員活動報告 概要

題名	福井県内におけるヒトメタニューモウイルスと RS ウイルスの流行状況の 解明
雑誌名	第 4 1 回「地域保健福祉研究助成」報告書（大同生命）
発表者名	中村 雅子 （保健衛生部）
発行日	平成 2 0 年 1 0 月
内容	急性呼吸器感染症の原因となるウイルスの中で、ヒトメタニューモウイルス（以下、hMPV）と RS ウイルス（以下、RSV）について、特に問題となる小児と高齢者を対象に調査を行った。 2007 年 4 月から 2008 年 9 月までに、県内の小児科 2 箇所、高齢者施設等 3 施設において呼吸器系症状を呈した患者（インフルエンザを除く）から採取された鼻咽頭ぬぐい液 269 検体（小児科 210 検体、高齢者施設等 59 検体）を材料とした。 小児科の検体からは hMPV が 23 検体および RSV が 78 検体検出された。また、保育園における風邪様疾患の検体から RS ウイルスが、身体障害者施設における集団感染事例の検体から hMPV が検出された。 検出されたウイルスの解析と、臨床症状や疫学的背景の調査結果を併せ、県内におけるこれらのウイルスの侵淫状況や流行状況を考察した。